

全体像把握の必要性確認ワーク 実施ガイド

■所要時間：55分 連想ゲーム：45分、全体像把握の必要性事例：10分

■事前準備：無し

■準備物：仕様書参照

【実施ガイド】

<連想ゲーム概要>

グループに一つずつ与えられた情報をもとに、想定される対象をあてるゲームです。全体と個別の視点から全体像の必要性理解と異なる視点や考えを持つ人の意見の尊重という二つをメインテーマとします。

<実施ガイド> グループ数は6グループ必要です。

1. ルールを解説した後に、各グループ（A～F）にそれぞれの【情報】資料を配布

※
※

2. 配布終了後、準備時間として3分提供します。

3. ゲーム前の質疑応答

■受講者から想定される質問

・
・
・

4. ゲーム開始

各グループ、回答は講師のところに行って行います。

講師は他グループに聞こえないように正解かどうかを回答します。

正解を当てたグループは、制限時間終了もしくは全グループが正解を出すまで待ちます。

（連想ゲーム制限時間 10 分間）

連想ゲーム開始3分前後で様子を見ながら、下記のヒントを提供

ヒント：

<連想ゲーム実施後フィードバック>

講師 PowerPoint ノート部分に記載

【対象者に応じてメッセージ変更】

連想ゲーム及びカフェの事例を共有した後のメッセージを変えることで、対象者問わず実施が可能です。

◆受講者：新入社員、若手、中堅社員

自分がやってる仕事や見えている仕事の全体像と自分がどの部分を担っているかを把握することで視点や視座が引きあがる。自分の仕事の前後を意識した行動や発言を行うことで、動き方や評価が変わる。

◆受講者：監督職、管理職

部下や後輩にただ指示を与えるだけではなく、それが何につながるか、どの部分を役割として担っているのか、全体像を伝えることで、部下後輩の自発的な行動や責任感の醸成につながる。

以上

<資料抜粋>

連想ゲーム

■ 連想ゲーム

与えられた情報から、「隠されている対象は何か」を連想するゲーム
※他チームも連想する対象は同じ



<ルール>

- ・制限時間:10分
- ・1チームに2回、回答する権利があります。
- ・回答する際は、講師のところに行って、他チームにわからないように話してください。
- ・
- ・ と の合計得点が高いチームが優勝です。

<得点計算表>

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
得点						
	なし	1チーム	2チーム	3チーム	4チーム	5チーム
得点						

1

全体像把握の必要性

■ 事例で考える

カフェで接客を行っているメンバーがいます。
接客は覚えたので、厨房で調理、提供を教えることになりました。

2